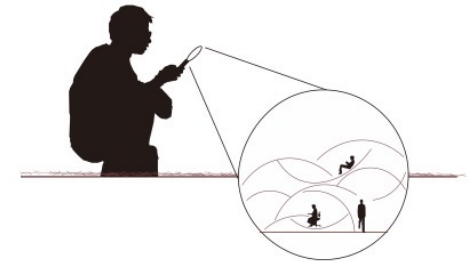
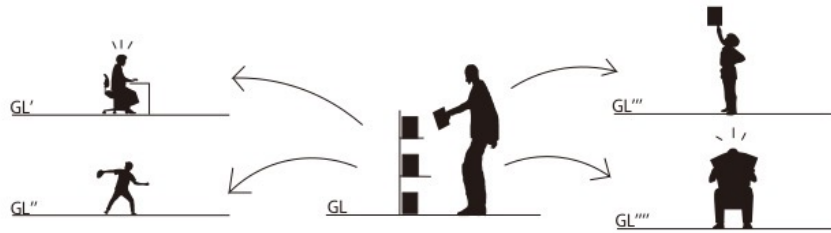


広がり、出会い、始まり

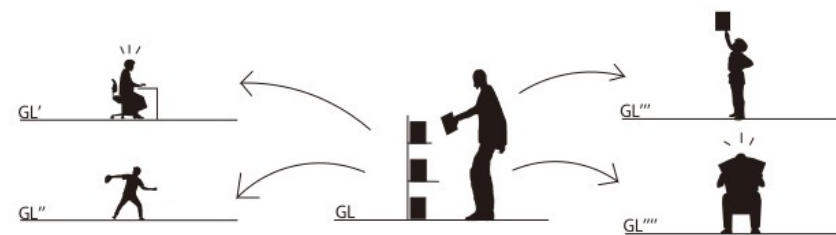
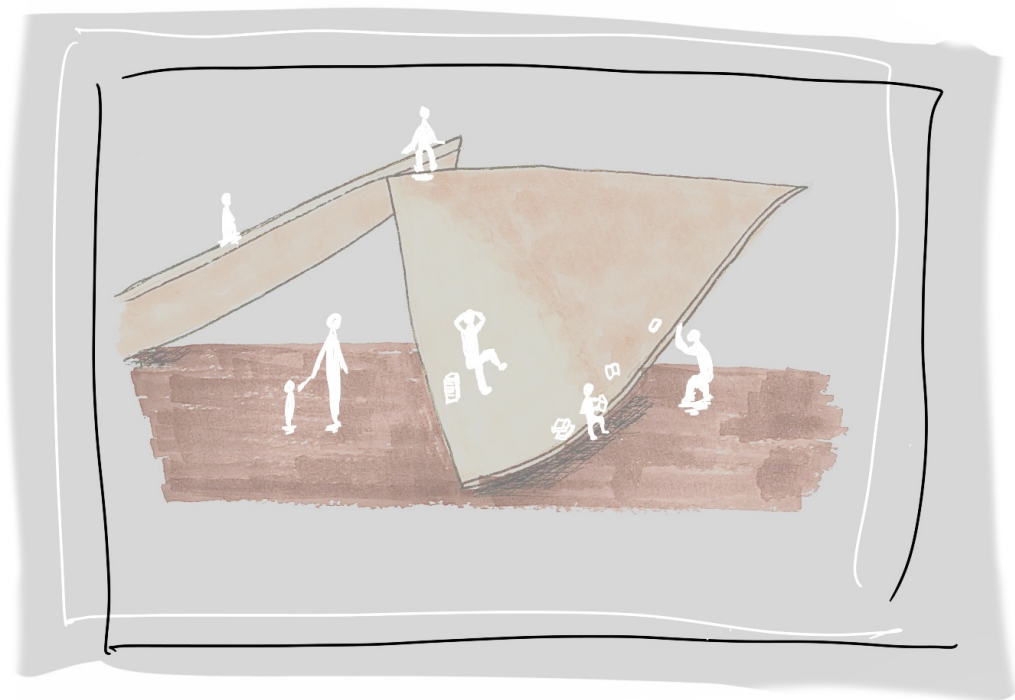
GLに立つ



グラウンドレベル：広がるGL

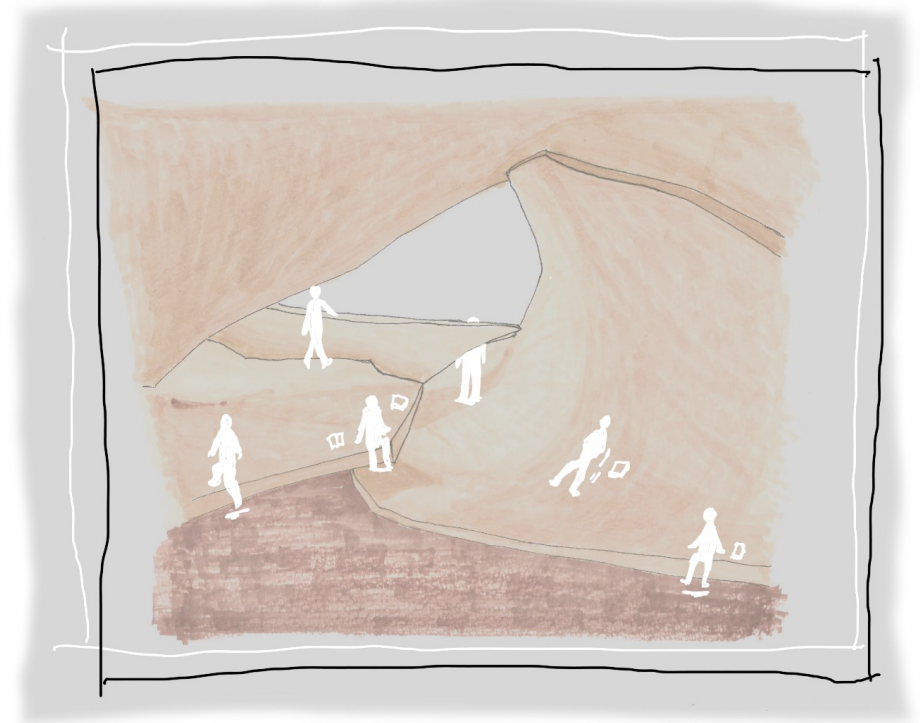
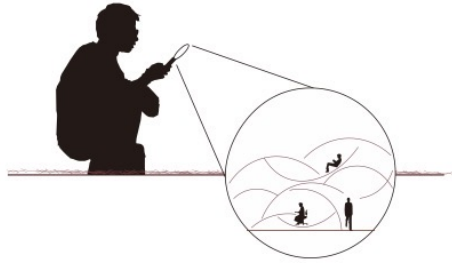


新たなモノとの出会い



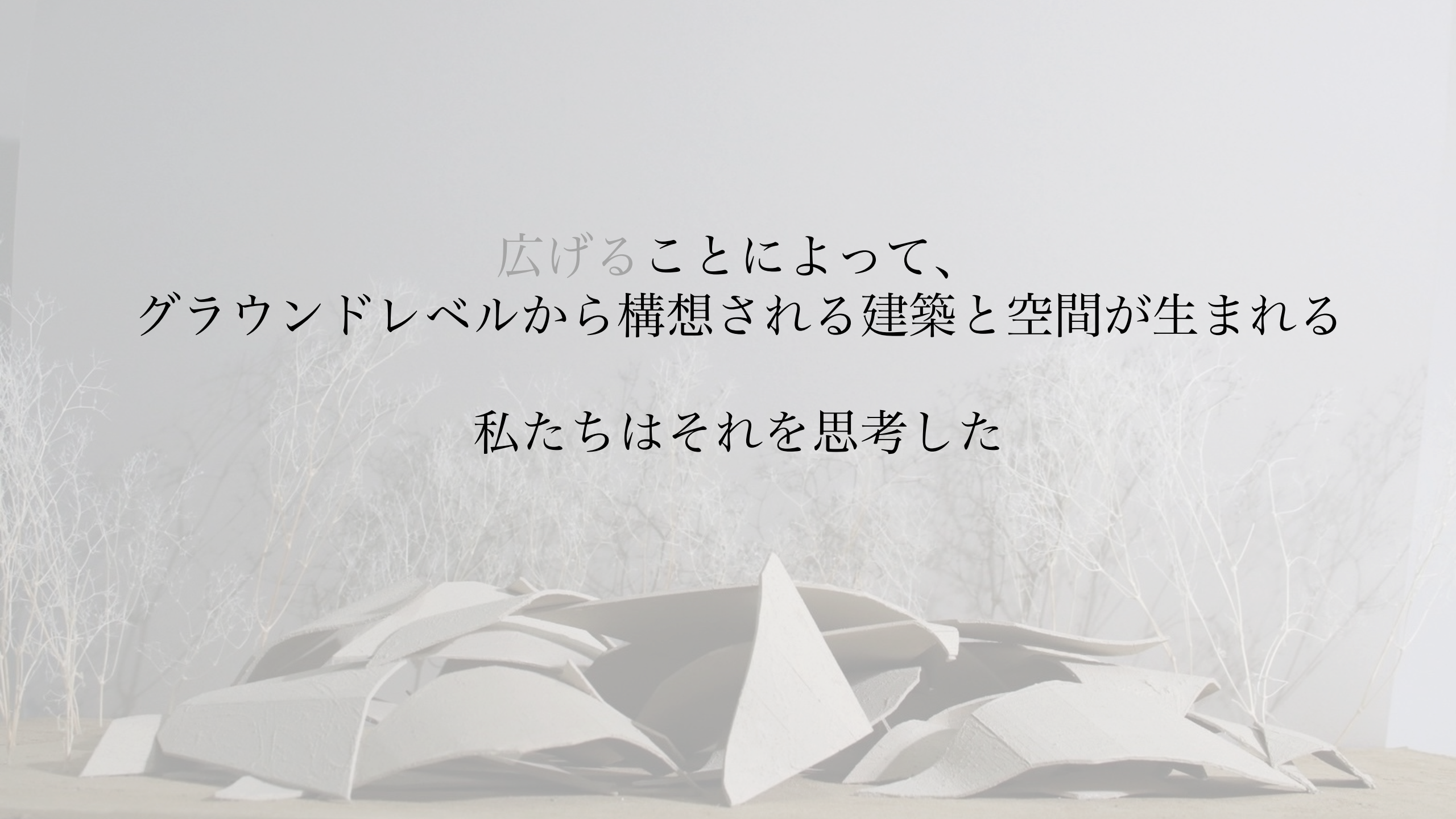
グラウンドレベル上で
人の営みを介し広げる

GLを広げて見る

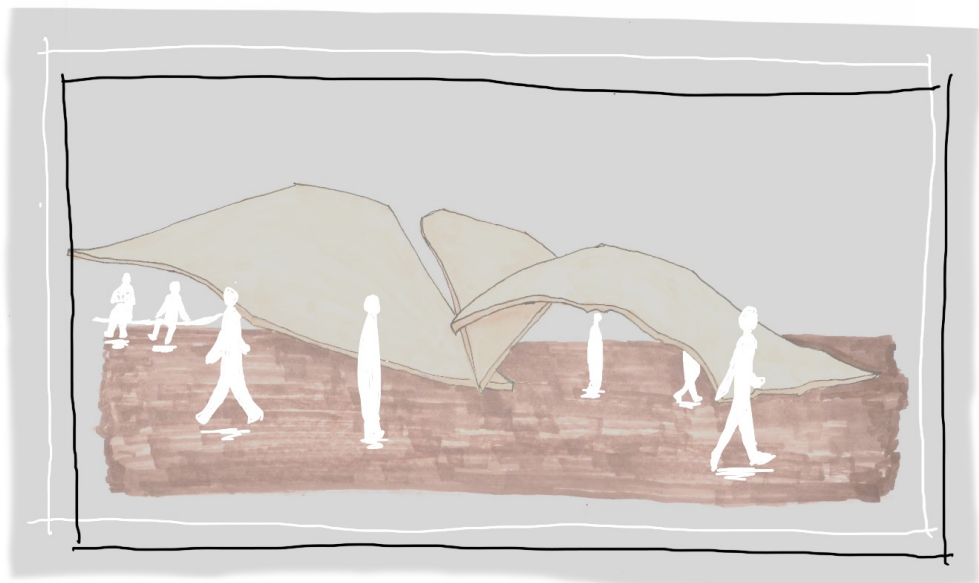


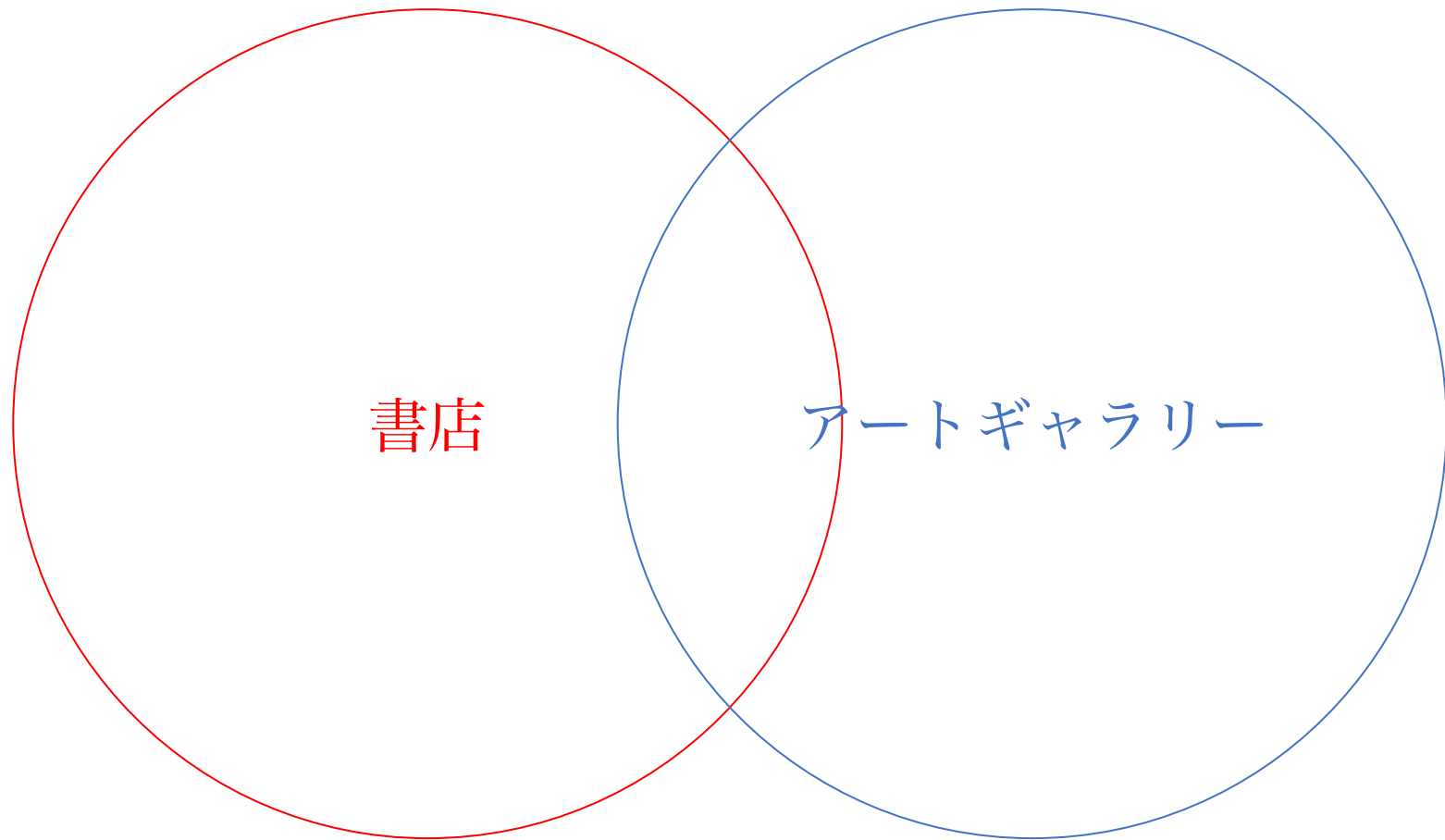
広げることによって、
グラウンドレベルから構想される建築と空間が生まれる

私たちはそれを思考した



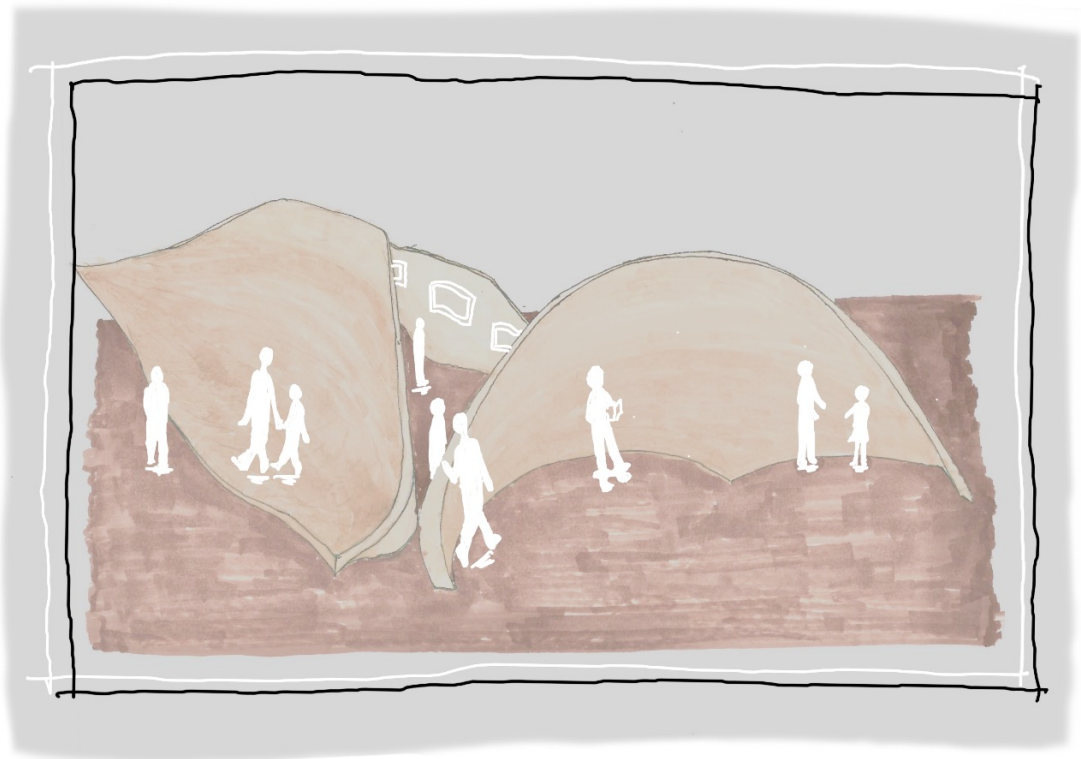
提案：広がり立つ



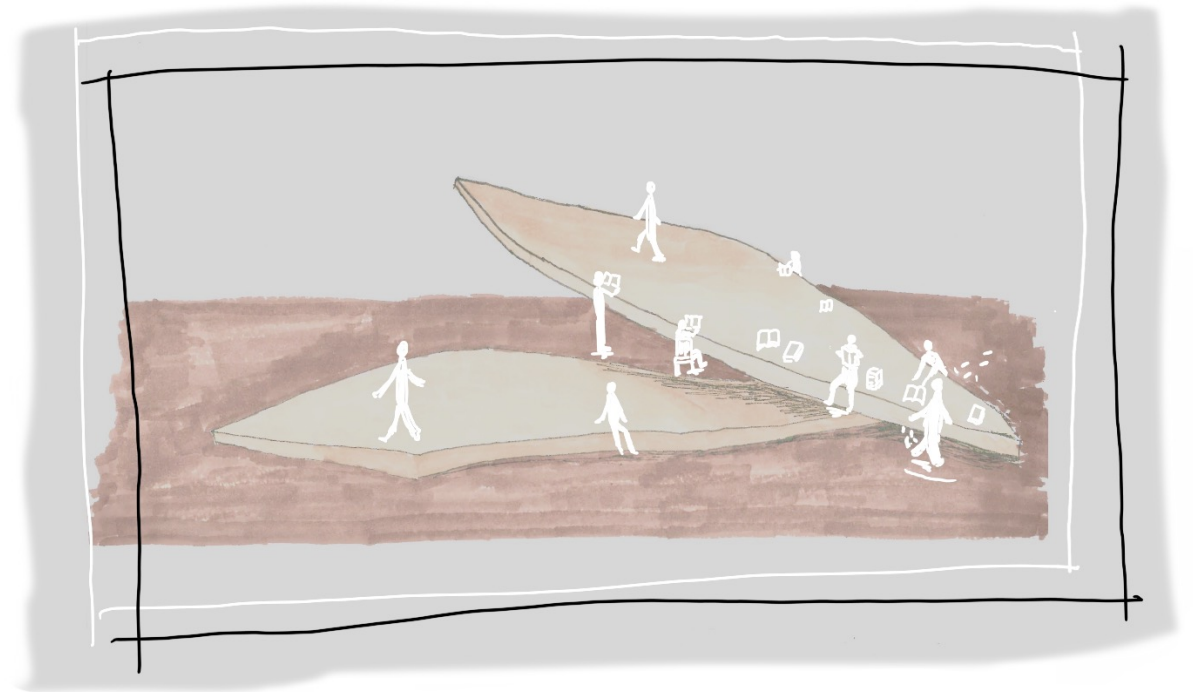


書店

アートギャラリー



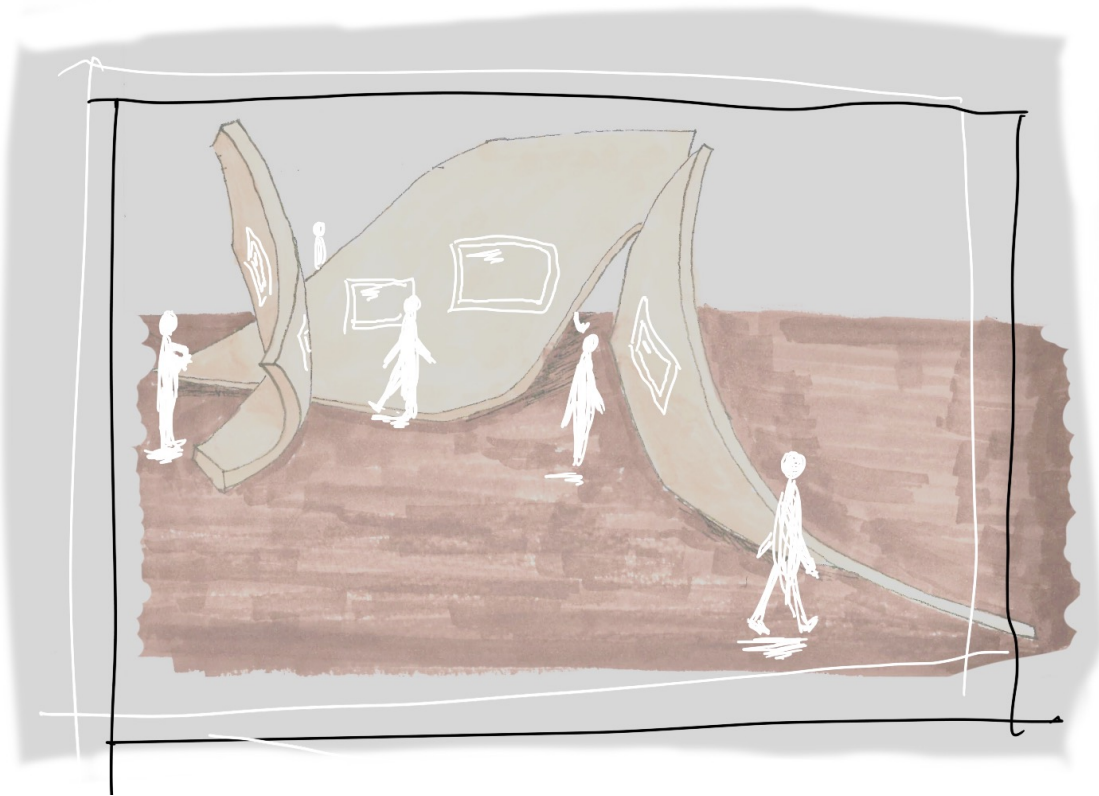
隙間を作り、書店に居る人に
アートギャラリーの存在を感じさせ、
日常に、非日常に行く
きっかけの場を与える



書店では

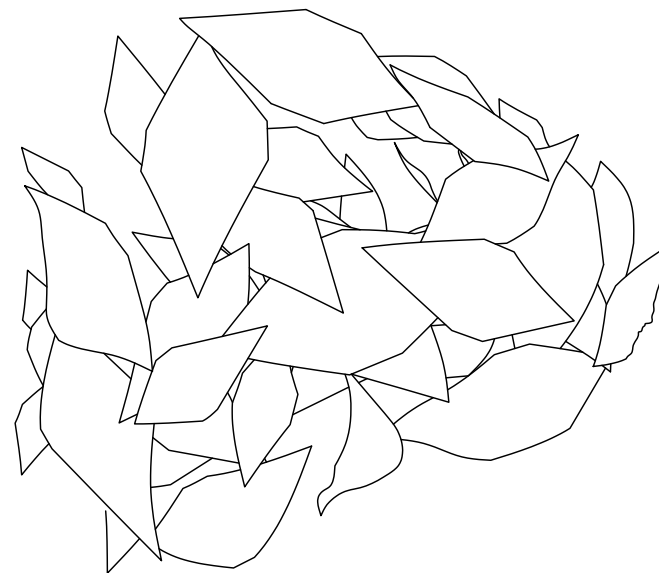
読んでいた本を自分が居た椅子や机に
置きっぱなしにする

偶然的に知らない本に出会うことで、
新たなモノのGLに立つことができる



アートギャラリーでは
様々な順路、角度から作品を
見ることで、新たな視点に出
会い、新たなGLに立つ

三次元に広がり、豊かになったグラウンドレベル
一見無造作に見えるファサードの中に、
有意義な空間を構成している



この空間で、新しいモノとの出会いは、誰かが書いた本・読んだ本、
誰かが作ったアート・見たアートから生まれる

人を介した出会いが無限に繰り返され、広がる

新しいモノに触れた瞬間に、そのモノのグラウンドレベルに立つ
その瞬間が生まれる場所

強制的ではなく、人それぞれに選択肢を与え、感性や価値観による判断の
もとに、出会い、グラウンドレベルに立つ

そんな偶然の出会いを必然的に与える場として
この建築は意義を持つ